



UR-MS16DT

三菱電機 MELSEC iQ-R シリーズ

CC-Link IE Field 接続サンプルマニュアル

オプテックス・エフエー株式会社

www.optex-fa.jp

《目次》

1.	はじめに	4
1.1.	IO-Link サンプル概要	4
1.2.	概要と手順	4
1.3.	サンプルシステムの構成	5
1.4.	ハードウェア構成	6
1.5.	ソフトウェア構成	6
1.6.	サンプルファイル	6
1.7.	関連マニュアル	7
2.	セットアップ方法	8
2.1.	IO-Link マスタ本体設定	8
2.2.	プロファイルの登録	8
2.3.	GX Works3 の設定	9
2.3.1.	ユニットパラメータの設定。	9
2.3.2.	ユニット情報の設定	11
2.3.3.	リフレッシュ設定	12
2.3.4.	IO-Link マスタのデバイス割り付け	13
2.4.	サンプルラダーの書込み	14
2.5.	サンプル画面の書込み	14
2.6.	IO-Link マスタの設定値読出し	15
2.7.	IO-Link マスタの設定値書込み	16
2.8.	IO-Link マスタのアクセスコード及びインデックス番号	17
2.9.	IO-Link マスタ情報表示画面	18
2.10.	IO-Link デバイスの情報取得	20
3.	サンプルラダー	21
3.1.	デバイス使用一覧	21
3.2.	シーケンスプログラムの説明	23



改定履歴

改定日	
2021/4/1	初版



1. はじめに

1.1. IO-Link サンプル概要

三菱電機シーケンサ MELSEC iQ-R シリーズと UR-MS16DT を CC-Link IE Field 接続するサンプルです。

IO-Link マスタサンプルは MELSEC iQ-R シリーズのプロファイルを用意し、CC-Link IE Field で UR-MS16DT とシーケンサ iQ-R シリーズを簡単に接続がすることが可能です。

三菱電機タッチパネル GOT シリーズと組み合わせて、UR-MS16DT マスタ局や各デバイスの状態を画面で確認することができます。

三菱 GOT シリーズのタッチパネルで UR-MS16DT の遠隔操作やモニタが可能です。

サンプルプログラムを使用する際は、サンプルラダーを MELSEC iQ-R シリーズへ書き込みしてください。

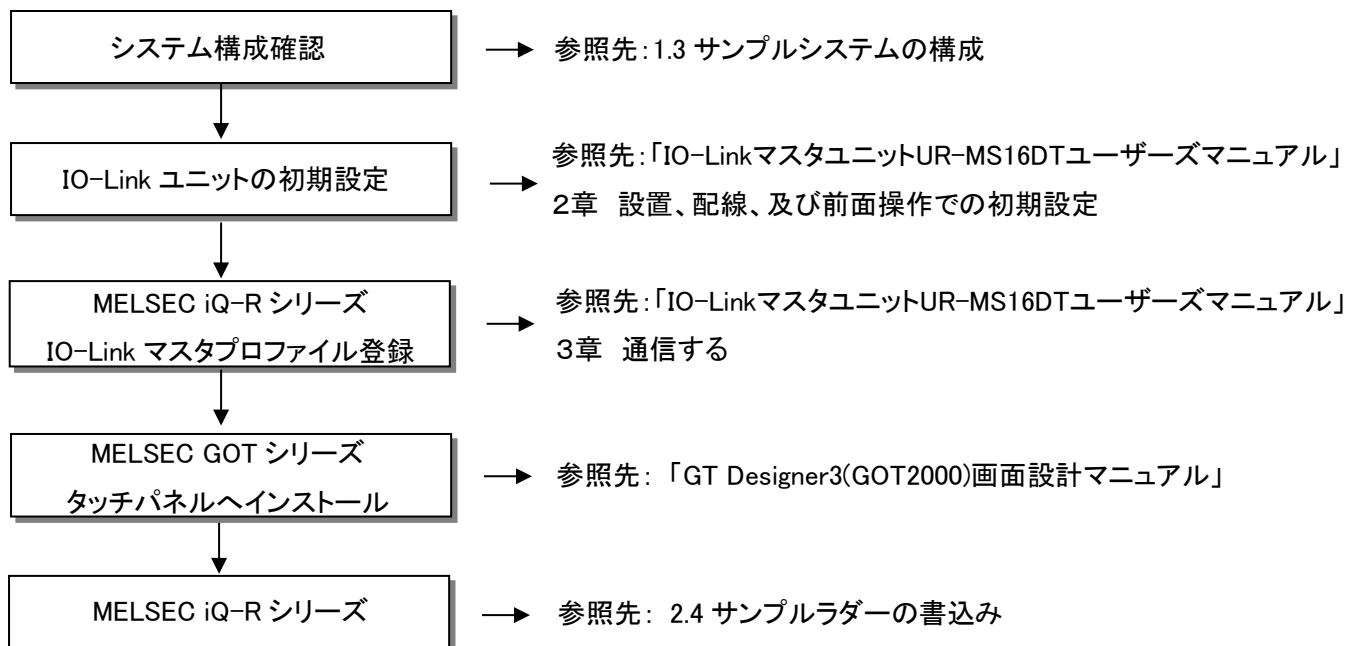
(1) サンプルデータを使用することで UR-MS16DT の情報を MELSEC iQ-R シリーズのデータレジスタへ直接格納します。

(2) UR-MS16DT の設定の読み書きやデバイスの計測値はデータレジスタを使用します。

(3) CC-Link IE Field への読み書きは RIRD/RIWD 応用命令を使用します。

1.2. 概要と手順

運転までの流れ



1.3. サンプルシステムの構成

シーケンサ設計・保守ツール

GX Works3



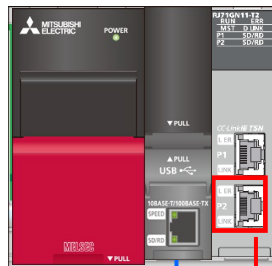
三菱 GOT シリーズ画面作成ソフトウェア

GT Designer3



MELSEC iQ-R シリーズ

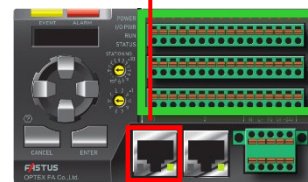
RJ71GN11-T2



Ethernet ケーブル

IO-Link マスタユニット

UR-MS16DT



IO-Link 対応センサ(最大 16 台)



IO-Link 画面

タッチパネル

GOT2000 シリーズ

アンプ内蔵光電センサ



IO-Link

超小型レーザ距離
センサ



IO-Link

ファイバセンサ



IO-Link

1.4. ハードウェア構成

No	会社名	製品名/シリーズ	モデル/型式	備考
1	三菱電機株式会社	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU R08CPU R16CPU R32CPU R120CPU	iQ-R CPU ユニット iQ-R ベースユニット、 iQ-R 電源ユニットが必要で す。
2		CC-Link IE Field マスタ・ローカルユニット	RJ71GF11-T2	
3		GOT2000 シリーズ	GT25**-V(640 × 480)	
4	オプテックス・エフエー株式会社	IO-Link マスタ	UR-MS16DT	CC-Link IE Field 対応ユニット
5		小型光電センサ	Z4 シリーズ	IO-Link 対応アップ内蔵 光電センサ

1.5. ソフトウェア構成

No.	会社名	製品名	バージョン	製品情報
1	三菱電機株式会社	GX Works3	1.066U 以降	シーケンサ設計・保守ツール
2		GT Designer3	1.240A 以降	GOT シリーズ画面作成ソフトウェア

1.6. サンプルファイル

No.	会社名	タイプ	ファイル名
1	オプテックス・エフエー株式会社	サンプルプロジェクト	gw_optexfa-iolink-ief_v100.j.gx3
2		タッチパネル	gt-optexfa-iolink-cc-ief_v100.j.GTX
3		CSP+ファイル	H1338_UR-MS16DT(IEF)_1_ja.zip

※サンプルファイルの設定機種は R04CPU です。

異なる形式の CPU 場合は、ご使用になる機種に変更してください。

CSP+ファイルは弊社 HP 製品情報の UR シリーズの製品ページからソフトウェアのダウンロードを選択して頂く事で入手可能です。



1.7. 関連マニュアル

ソフトウェアのセットアップ方法については各シリーズのマニュアルを参照してください。

(1) MELSEC

「MELSEC iQ-R プログラムマニュアル(ユニット専用命令編)」

(2) MELSEC

「GT Designer3(GOT2000)画面設計マニュアル」

(3) OPTEX-FA

「IO-Link マスタユニットUR-MS16DT ユーザーズマニュアル」

(4) OPTEX-FA

「小型光電センサZ4シリーズ取扱説明書」



2. セットアップ方法

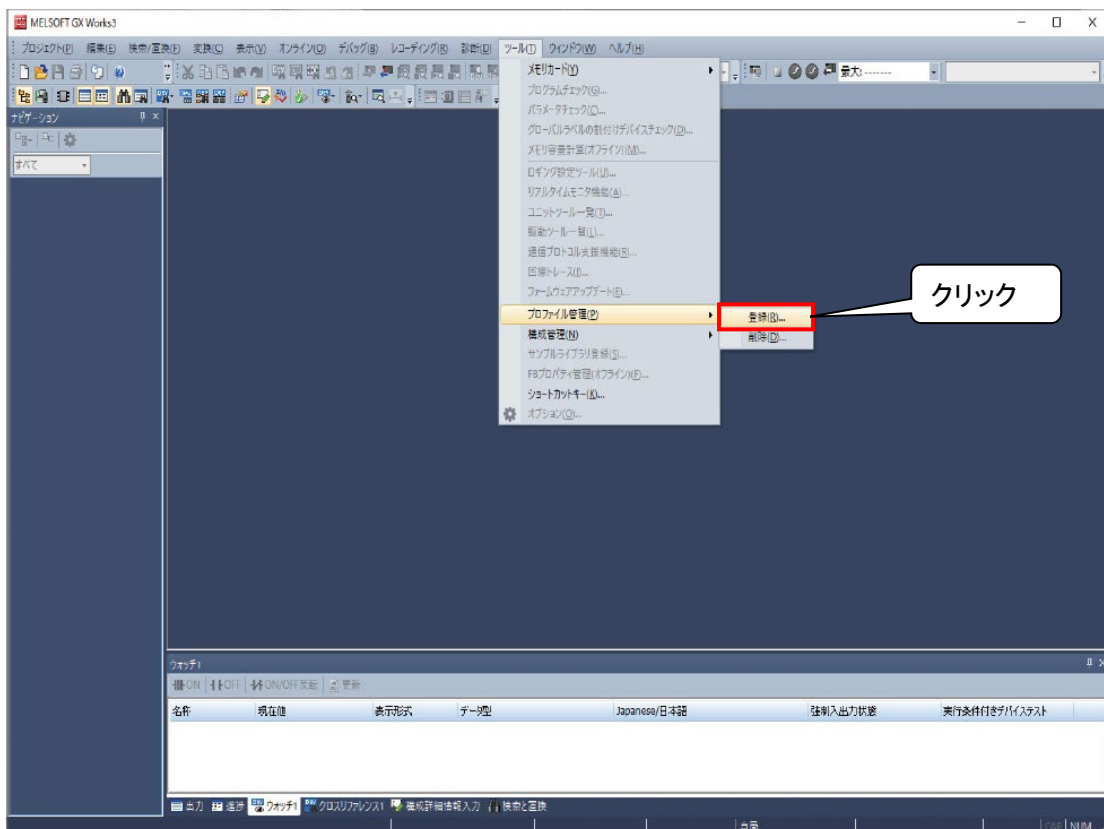
2.1. IO-Link マスタ本体設定

項目名	設定	備考
ネットワーク種類	1	CC-Link IE Field
言語選択	1	日本語
STATION No.	1	UR-MS16DT 本体前面ロータリ SW(x1,x10)

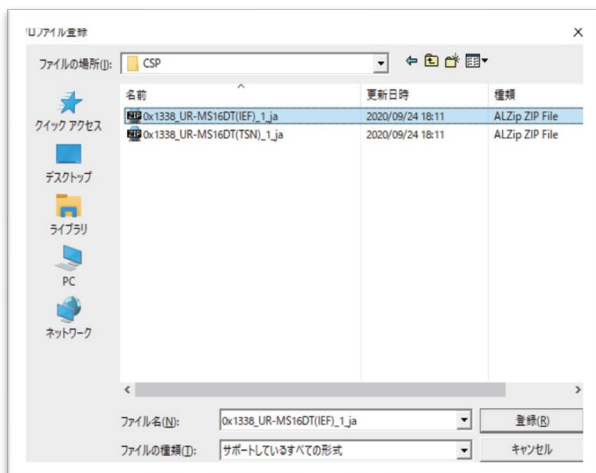
2.2. プロファイルの登録

GXWorks3 に CSP+ファイルを登録します。

① ツールメニューのプロファイル登録→登録を選択します。



② あらかじめ用意した CSP+ファイルを選択し、登録ボタンをクリックします。



2.3. GX Works3 の設定

2.3.1. ユニットパラメータの設定

①ナビゲーション→パラメータ→R※CPU→ユニットパラメータ→基本設定→IP アドレス設定

項目名	設定	備考
IP アドレス	192.168.3.39	-
サブネットマスクパターン	255.255.255.0	(初期値)
デフォルトルータアドレス	空白	(初期値)

クリック

設定

②基本設定→相手機器接続構成設定→<詳細設定>

クリック



③Ethernet 構成設定を下表のように設定します。

No.	型名	プロトコル	シーケンサ ポート番号	シーケンサ IP アドレス	生存確認
1	SLMP 接続機器	UDP	1025	192.168.3.39	UDP

Ethernet構成 (内蔵Ethernetポート)

Ethernet構成(N) 編集(E) 表示(V) 設定を破棄して閉じる(A) 設定を反映して閉じる(R)

接続機器の自動検出

No.	形名	通信手段	プロトコル	固定バッファ 送受信設定	シーケンサ		センサ・機器
					IPアドレス	ポート番号	MACアドレス
1	SLMP接続機器	SLMP	UDP		192.168.3.39	1025	

設定

自局
接続台数:1

接続
No.1

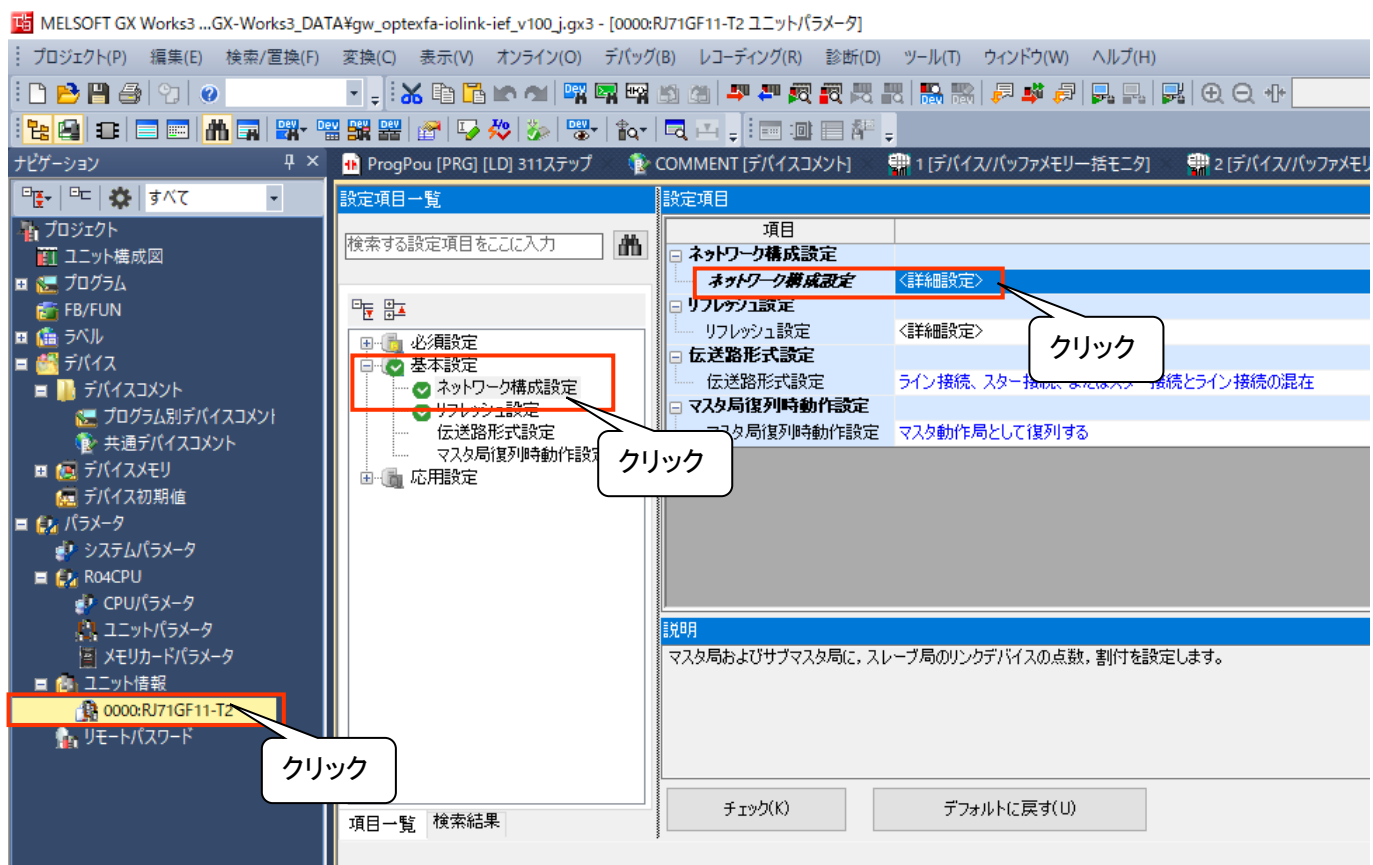
SLMP

SLMP接続
機器

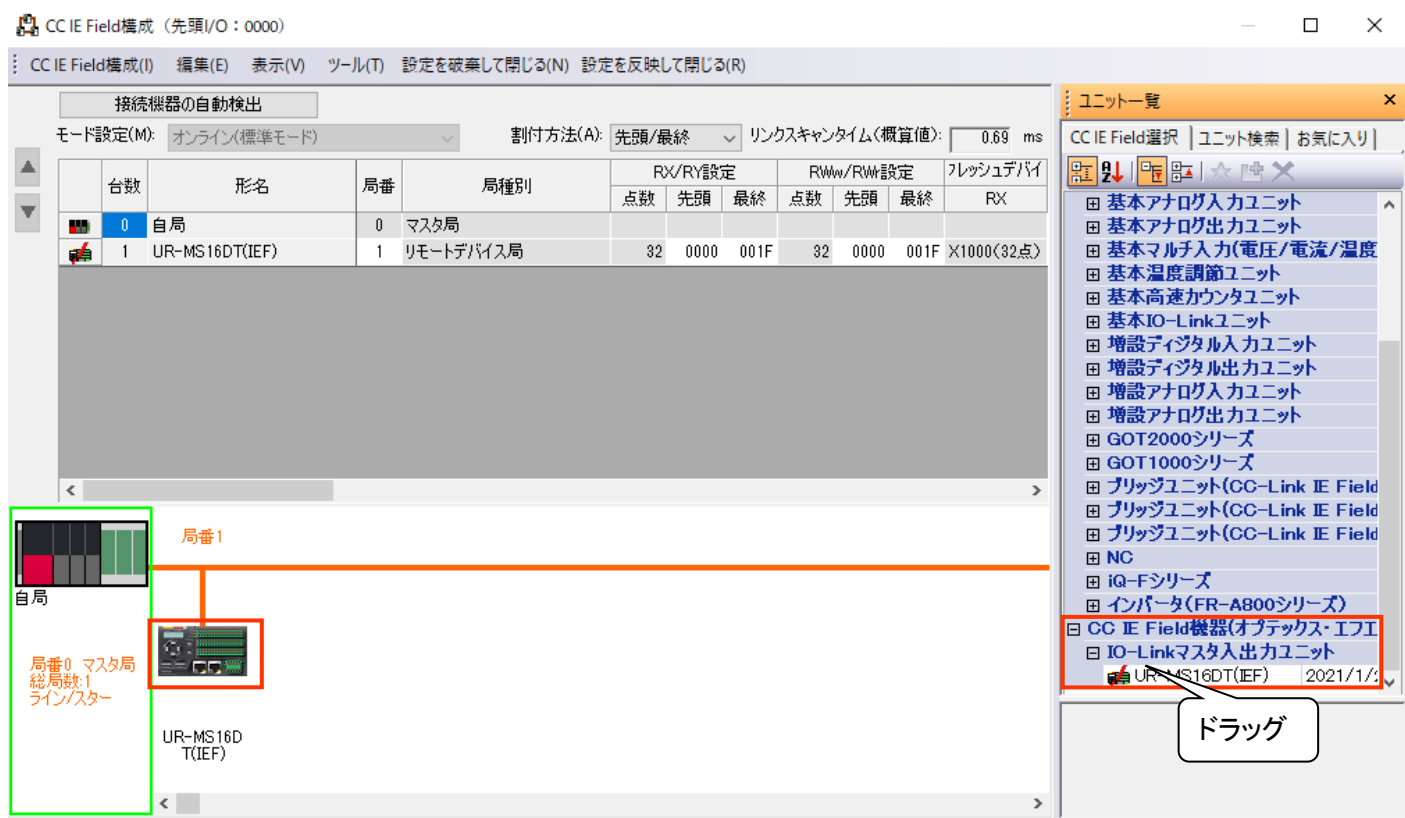


2.3.2. ユニット情報の設定

①[ユニット情報]の[RJ71GF11-T2]から[ネットワーク構成設定]、<詳細設定>をクリックします。



②IO-Link マスタ入出力ユニット追加

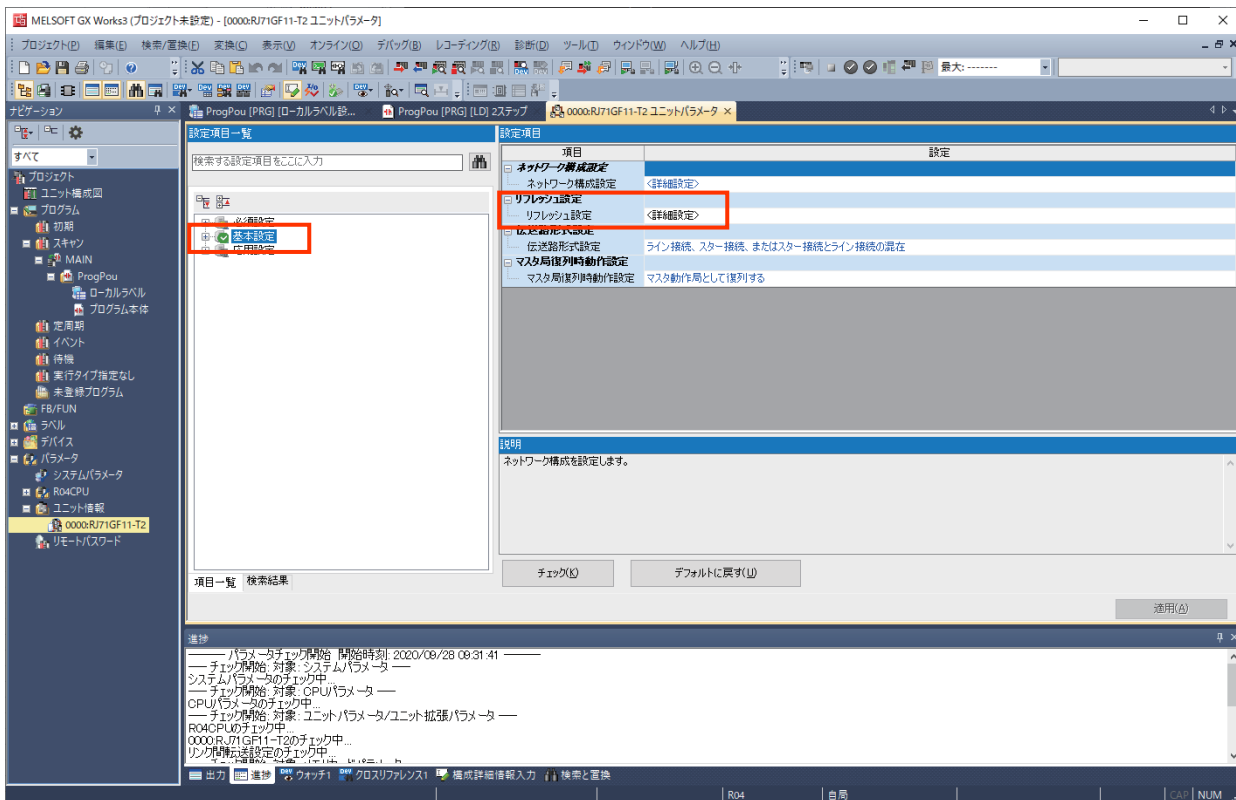


2.3.3. リフレッシュ設定

CC-Link IE Field マスタユニットのパラメータ設定をおこないます。

[設定項目一覧]の中から「基本設定」をクリックします。

右側の[設定項目]の[リフレッシュ設定]にて、<詳細設定>をダブルクリックします。



リフレッシュ設定

リンク側					CPU 側				
デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
SB	64	00000	0003F	⇔	指定デバイス	SB	32	00000	0003F
SW	64	00000	0003F	⇔	指定デバイス	SW	32	00000	0003F
RX	32	00000	0001F	⇔	指定デバイス	X	32	01000	0101F
RY	32	00000	0001F	⇔	指定デバイス	Y	32	01000	0101F
RWr	32	00000	0001F	⇔	指定デバイス	D	32	1000	01031
RWw	32	00000	0001F	⇔	指定デバイス	D	32	1100	01031



2.3.4. IO-Link マスタのデバイス割り付け

IO-Link マスタとリンクデバイス(RX/RY/RWr•RWw)と定期的に通信します。

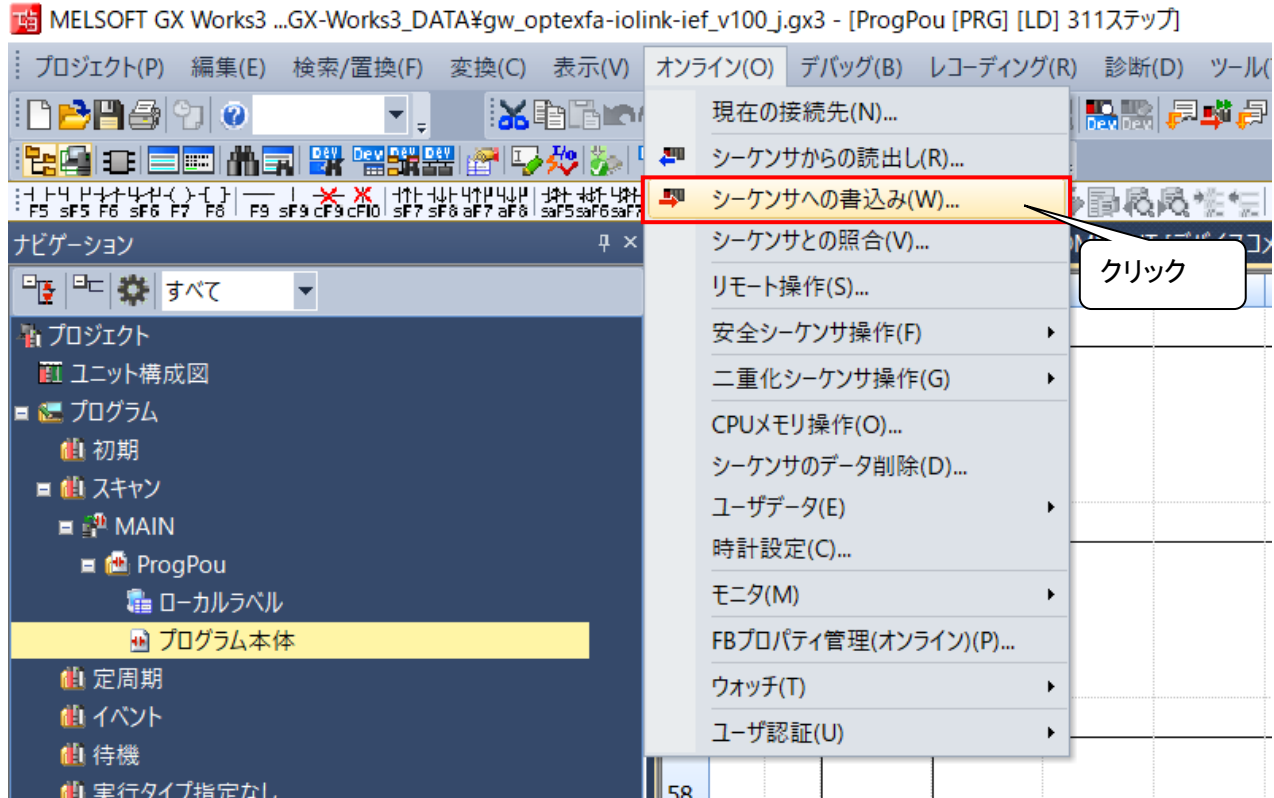
リンクデバイス	ワードアドレス (先頭番号+)	ビットアドレス															
		F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
RX	0 □	デジタル入力 (チャンネル 0 ～ F : ビットアドレス 0 ～ F に対応)															
	1 □	エラーあり	IO-Link レディ	同期 確立	予約	最新エラーチャンネル				イベント あり	入出力 電源供給	出力 過電流	予約	最新イベントチャンネル			
RY	0 □	デジタル出力 (チャンネル 0 ～ F : ビットアドレス 0 ～ F に対応)															
	1 □	最新エ ラーク リア	予約							最新イ ベント クリア	予約						
RW _r	00	プロセス入力データ チャンネル 0 (*1)															
	01																
	02	プロセス入力データ チャンネル 1 (*1)															
	03																
															
	1E	プロセス入力データ チャンネル F (*1)															
	1F																
RW _w	00	プロセス出力データ チャンネル 0 (*1)															
	01																
	02	プロセス出力データ チャンネル 1 (*1)															
	03																
															
	1E	プロセス出力データ チャンネル F (*1)															
	1F																

※詳しくは「IO-Link マスタユニット UR-MS16DT ユーザーズマニュアル」をご参照ください。



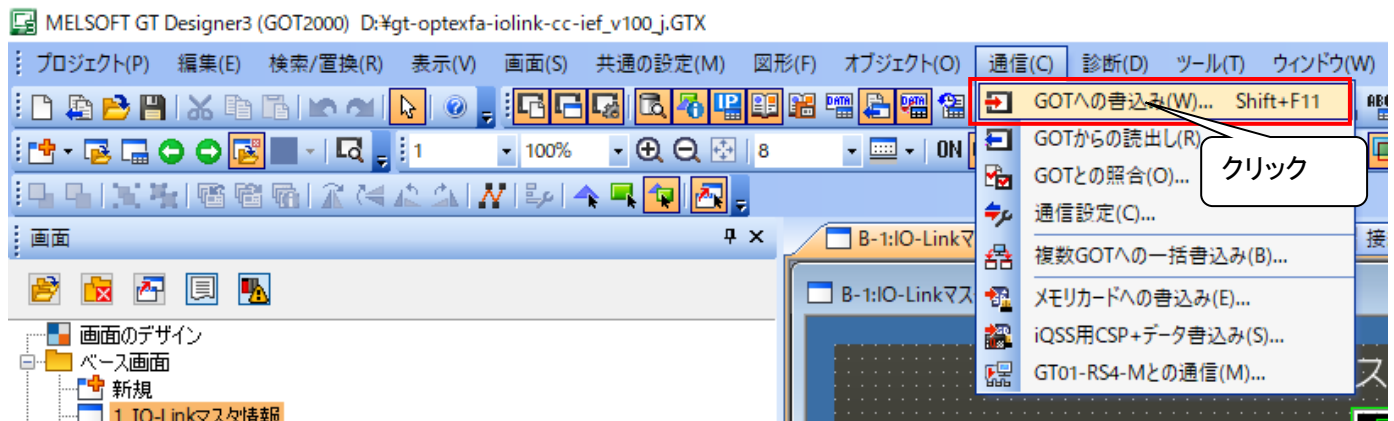
2.4. サンプルラダーの書込み

- ①GX Works3...gw_optexfa-iolink-ief_v100.j.gx3 を選択します。
- ②MELSEC iQ-R シリーズ CPU ヘラダープログラムを書込みします。



2.5. サンプル画面の書込み

- ①GT Designer3...gt-optexfa-iolink-cc-ief_v100.j.gtxを選択します。
- ②GOT2000.シリーズへ画面データを書込みします



2.6. IO-Link マスタの設定値読出し



設定データ	内容	セット側	データ型
Jn	自局のネットワーク No. (1 ~ 239, 254) 254：他局アクセス時の有効ユニットで指定したネットワーク	ユーザ	BIN16 ビット
(S)	コントロールデータを格納している自局の先頭デバイス		システム
(D1)	読み出したデータを格納する自局の先頭デバイス		
(D2)	命令完了にて 1 スキャン ON させる自局のデバイス 異常完了時は (D2) + 1 も ON する。		ビット

デバイス	項目	設定データ	設定範囲	セット側
(S)+0	完了ステータス	命令完了時の状態が格納されます。 0 : 正常 0 以外：異常 対象局がマスタ・ローカルユニット以外の場合、エラーコードは、対象局のマニュアルを参照してください。	—	システム
(S)+1	対象局番号	対象局の局番を指定します。 マスタ局：0 ローカル局、インテリジェントデバイス局、サブマスタ局：1 ～ 120	0 ～ 120	ユーザ
(S)+2	アクセスコード ／属性コード	読み出すデバイスのアクセスコードと属性コードを指定します。 <div><div>b15 ～ b8</div><div>b7 ～ b0</div><div>アクセスコード属性コード</div></div>	(b) 参照	ユーザ
(S)+3	デバイス番号	読み出すデバイスの先頭番号を指定します。	デバイス範囲内	ユーザ
(S)+4	読出し点数	読み出すデバイスのデータ数を、ワード単位で指定します。	1 ～ 480	ユーザ

アクセスコード

H80~8F	IO-Link デバイスへのアクセス(0~15ch)
HC0~CF	IO-Link デバイスへのアクセス(0~15ch) 4 バイト以下の読出し/書込みデータをリトルエンディアンで指定します。
HFF	IO-Link マスタへのアクセス

属性コード

H00~FF	サブインデックス番号 / マスタ設定値の該当 IO-Link デバイス番号
--------	---------------------------------------

デバイス番号

H0000~HFFFF	インデックス番号 / マスタ設定値番号
-------------	---------------------

読出し点数

読出し点数は (読出しデータのバイト数 + 1) ÷ 2 + 1 で決まります。必要なデータ数に応じて設定してください。

読出しデータは下記の形式で (D1) に格納されます。



2.7. IO-Link マスタの設定値書込み



設定データ	内容	セット側	データ型
Jn	自局のネットワーク No. (1 ~ 239, 254) 254 : 他局アクセス時の有効ユニットで指定したネットワーク	ユーザ	BIN16 ビット
(S1)	コントロールデータを格納している自局の先頭デバイス		デバイス名
(S2)	書き込むデータを格納している自局の先頭デバイス		
(D)	命令完了にて 1 スキャン ON させる自局のデバイス 異常完了時は (D) + 1 も ON する。	システム	ビット

デバイス	項目	設定データ	設定範囲	セット側
(S1)+0	完了ステータス	命令完了時の状態が格納されます。 0 : 正常 0 以外 : 異常 対象局がマスタ・ローカルユニット以外の場合、エラーコードは、対象局のマニュアルを参照してください。	—	システム
(S1)+1	対象局番号	対象局の局番を指定します。 マスタ局 : 0 ローカル局、インテリジェントデバイス局、サブマスタ局 : 1 ~ 120	0 ~ 120	ユーザ
(S1)+2	アクセスコード ／属性コード	書き込むデバイスのアクセスコードと属性コードを指定します。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> b15 ~ b8 b7 ~ b0 </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; border: 1px solid black; width: 100%;"> アクセスコード 属性コード </div>	(b) 参照	ユーザ
(S1)+3	デバイス番号	書き込むデバイスの先頭番号を指定します。	デバイス範囲内	ユーザ
(S1)+4	書き込み点数	書き込むデバイスのデータ数を、ワード単位で指定します。	1 ~ 480	ユーザ

アクセスコード

H80~8F	IO-Link デバイスへのアクセス(0~15ch)
HC0~CF	IO-Link デバイスへのアクセス(0~15ch) 4 バイト以下の書き込みデータをリトルエンディアンで指定します。
HFF	IO-Link マスタへのアクセス

属性コード

H00~FF	サブインデックス番号 / マスタ設定値の該当 IO-Link デバイス番号
--------	---------------------------------------

デバイス番号

H0000~HFFFF	インデックス番号 / マスタ設定値番号
-------------	---------------------

書き込み点数

書き込み点数は (書き込みデータのバイト数 + 1) ÷ 2 + 1 で決まります。必要なデータ数に応じて設定してください。

書き込みデータは下記の形式で (S2) に格納してください。



2.8. IO-Link マスタのアクセスコード及びインデックス番号

	I/O リンクマスタ読出し命令	局番号	アクセスコード/ 属性コード	インデックス番号 / マスタ設定値番号
IO-Link マスタ切り替え	読出しマスタ局の切り替え (1～239,254)	1～239 (初期値 1)	-	-
IO-Link マスタ情報表示	マスタ稼働時間読出し		HFF00	H3D/61(Dec)
	I/O 電源電圧読出し		HFF00	H3F/63(Dec)
	内部温度読出し		HFF00	H40/64(Dec)
	ネットワーク時刻読出し		HFF00	H41/65(Dec)
IO-Link マスタ書込み	マスタ局ユニット「右ボタン」		HFF01	H108/264(Dec)
	マスタ局ユニット「左ボタン」		HFF02	
	マスタ局ユニット「上ボタン」		HFF04	
	マスタ局ユニット「下ボタン」		HFF08	
	マスタ局ユニット「CANCEL ボタン」		HFF10	
	マスタ局ユニット「ENTER ボタン」		HFF11	
IO-Link マスタ情報表示	ディスプレイ表示文字列(1 行目)の読出し		HFF00	H107/263(Dec)
	ディスプレイ表示文字列(2 行目)の読出し		HFF01	H107/263(Dec)
IO-Link マスタ書込み	Find Me 機能(「1」を書込み緑 LED が点滅)		HFF00	H10A/266(Dec)
IO-Link デバイス表示 小型光電センサ Z4 シリーズ	ベンダー名読出し		H8000	H10/16(Dec)
	ベンダー情報読出し		H8000	H11/17(Dec)
	製品型式読出し		H8000	H12/18(Dec)
	ユーザータグ名称読出し		H8000	H18/24(Dec)
	メンテナンス時期予測日数		H8000	HA0
	検出余裕度		H8000	HA3



2.9. IO-Link マスタ情報表示画面

CC-Link IE Field 通信命令を使用することにより、IO-Link マスタや IO-Link デバイスへアクセスできます。

アクセスした情報は GOT の画面で確認することができます。

サンプルプログラムでは UR-MS16DT 本体ボタンを遠隔操作ができます。

GOTベース画面 1

IO-Linkマスタ情報表示

Find Me 要求  ⑦ 

⑨ 稼働時間 124 h

⑩ I/O電源電圧 24.0 V

⑪ 内部温度 31.2 °C

⑫ ネットワーク時刻 23.09:45.6448 20/03/12

⑬ ディスプレイ表示文字列(1行目)の読み出し
?-1. プロセスデータモニタ

⑭ ディスプレイ表示文字列(2行目)の読み出し
↑↓: プロセスデータ表示選択. ←→: チャ

⑮ ベンダー名読み出し
OPTEXFA

⑯ ベンダー情報読み出し
www.optex_fa.com

⑰ 製品型式読み出し
Z4D-L09N

⑱ ユーザータグ名称読み出し

⑲ メンテナンス時期予測日数 12.40年

⑳ 検出余裕度 9499

① 右

② 左

③ 上

④ 下

⑤ Cancel

⑥ ENTER

⑧ マスタ局 (1~239,254) 001



(1)ビットデバイス

IO-Link マスタに対して操作をおこないます。

No	構成要素名	ビットデバイス
1	右ボタンの操作	M120
2	左ボタンの操作	M121
3	上ボタンの操作	M122
4	下ボタンの操作	M123
5	CANCEL ボタンの操作	M124
6	ENTER ボタンの操作	M125
7	Find Me 要求操作	M150

(2)ワードデバイス

IO-Link マスタ/デバイスの取得をおこないます。

No	構成要素名	ワードデバイス	ワード数	データ形式
8	マスタ局	D101	1	Dec
9	稼働時間読出し	D5001	1	Dec
10	I/O 電源電圧読出し	D5011	1	Dec
11	内部温度読出し	D5021	1	Dec
12	ネットワーク時刻読出し	D5031	20	ASCII
13	ディスプレイ表示文字列(1 行目)の読出し	D5101	20	ASCII
14	ディスプレイ表示文字列(2 行目)の読出し	D5151	20	ASCII
15	ベンダー名読出し	D5501	20	ASCII
16	ベンダー情報読出し	D5551	20	ASCII
17	製品型式読出し	D5601	20	ASCII
18	ユーザータグ名称読出し	D5651	20	ASCII
19	メンテナンス時期予測日数	D5701	1	Dec
20	検出余裕度	D5751	1	Dec

RIRD/RIWT命令の詳細については「MELSEC iQ-R プログラムマニュアル(ユニット専用命令編)」、「IO-Linkユニット UR-MS16DTユーザーズマニュアル」をご参照ください。



2.10. IO-Link デバイスの情報取得

リフレッシュ設定をおこなったアドレスをアクセスすることで IO-Link マスタや IO-Link デバイスへアクセスできます。

GOTベース画面 2



(1)ビットアドレス

No	構成要素名	ビットデバイス
1	センサ類入力状態 (CH0~15)	X1000~X100F
2	アクチュエータ類 出力制御 (CH0~15)	Y1000~Y100F
3	イベントあり	X1017
4	IO-Link マスタレディ	X101E

(2)ワードアドレス

No	構成要素名	ワードデバイス
5	最新イベントチャネル(1 バイト)	X1010~1013
6	最新エラーチャネル(1 バイト)	X1018~101B
7	プロセス入力データ(CH0~15)	D1000~D1015
8	プロセス出力データ(CH0~15)	D1100~D1115



3. サンプルラダー

専用ユニット命令を使用したサンプルラダーとなります。

JP.RIRD/JP.RIWT 命令を使用します。

3.1. デバイス使用一覧

①ビットデバイス

No.	名称	ビットデバイス
1	マスタ稼働時間読出し完了	M0000
2	マスタ稼働時間読出し異常	M0001
3	I/O 電源電圧読出し完了	M0002
4	I/O 電源電圧読出し異常	M0003
5	内部温度読出し完了	M0004
6	内部温度読出し異常	M0005
7	ネットワーク時刻読出し完了	M0006
8	ネットワーク時刻読出し異常	M0007
9	ディスプレイ表示文字列(1 行目)の読出し完了	M0008
10	ディスプレイ表示文字列(1 行目)の読出し異常	M0009
11	ディスプレイ表示文字列(2 行目)の読出し完了	M0010
12	ディスプレイ表示文字列(2 行目)の読出し異常	M0011
13	Find Me 要求命令完了	M0014
14	Find Me 要求命令異常	M0015
15	ベンダー名読出し完了	M0020
16	ベンダー名読出し異常	M0021
17	ベンダー情報読出し完了	M0022
18	ベンダー情報読出し異常	M0023
19	製品型式読出し完了	M0024
20	製品型式読出し異常	M0025
21	ユーザータグ名称読出し完了	M0026
22	ユーザータグ名称読出し異常	M0027
23	メンテナンス時期予測日数読出し完了	M0028
24	検出余裕度読出し完了	M0030
25	命令異常完了	M0031
26	右ボタンの操作	M0120
27	左ボタンの操作	M0121
28	上ボタンの操作	M0122
29	下ボタンの操作	M0123
30	CANCEL ボタンの操作	M0124



31	ENTER ボタンの操作	M0125
32	Find Me 要求	M0150
33	操作ボタン実行	M1000
34	ボタン操作完了	M1001
35	ボタン操作異常	M1002

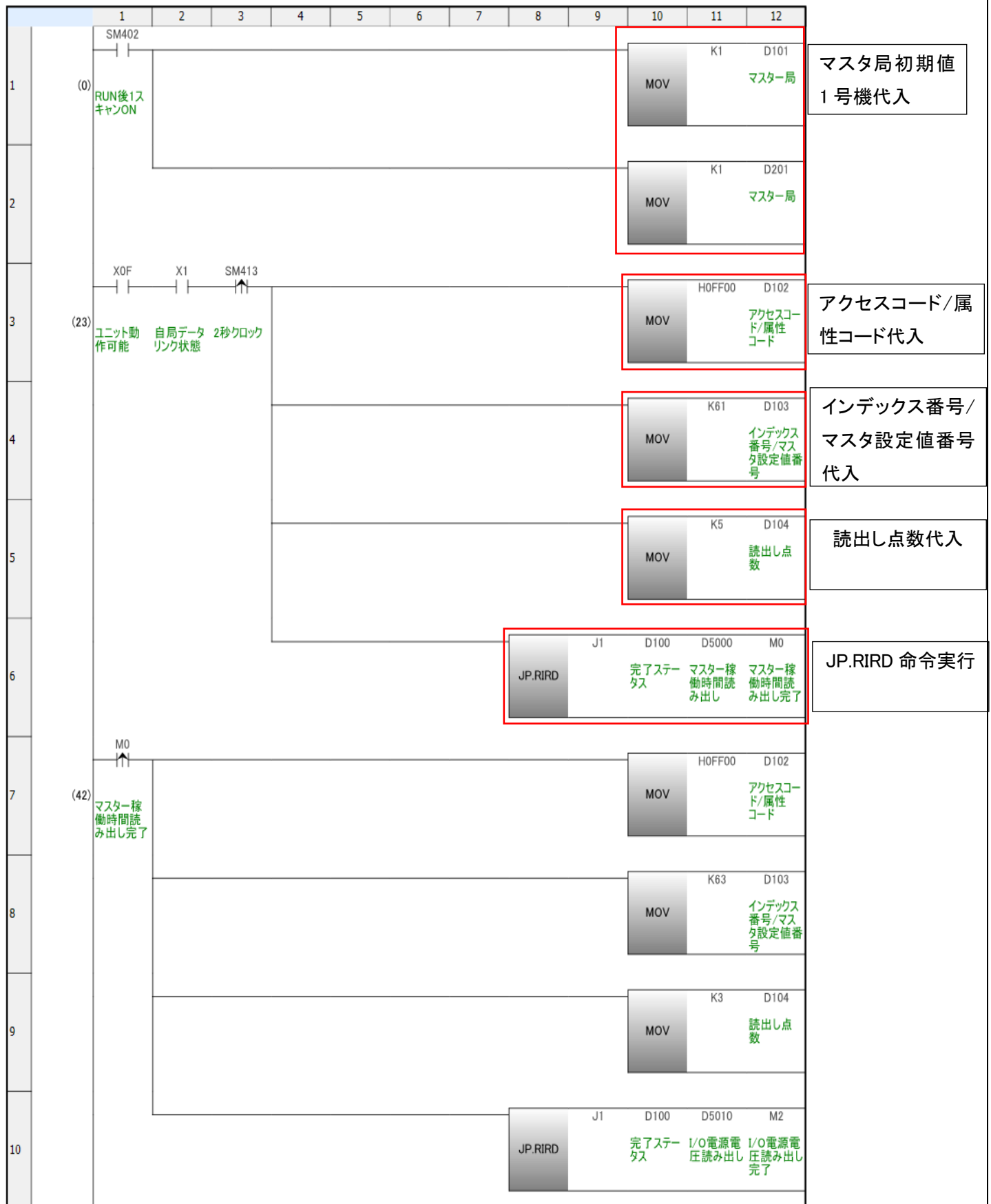
②ワードデバイス

No.	名称	ワードデバイス
1	読出し完了ステータス	D0100
2	読出しマスタ局	D0101
3	読出しアクセスコード/属性コード	D0102
4	読出しインデックス番号/マスタ設定値番号	D0103
5	読出し点数	D0104
6	書込み完了ステータス	D0200
7	書込みマスタ局	D0201
8	書込みアクセスコード/属性コード	D0203
9	書込みインデックス番号/マスタ設定値番号	D0204
10	書込み込み点数	D0205
11	マスタ稼働時間読出し	D5000～D5004
12	I/O 電源電圧読出し	D5010～D5012
13	内部温度読出し	D5020～D5024
14	ネットワーク時刻読出し	D5030～D5041
15	マスタ局ユニットボタン操作	D5050
16	ディスプレイ表示文字列(1 行目)の読出し	D5100
17	ディスプレイ表示文字列(2 行目)の読出し	D5150
18	Find Me 機能(「1」を書込み緑 LED が点滅)	D5200
19	ベンダー名読出し	D5500
20	ベンダー情報読出し	D5550
21	製品型式読出し	D5600
22	ユーザータグ名称読出し	D5650
23	メンテナンス時期予測日数	D5700
24	検出余裕度	D5750

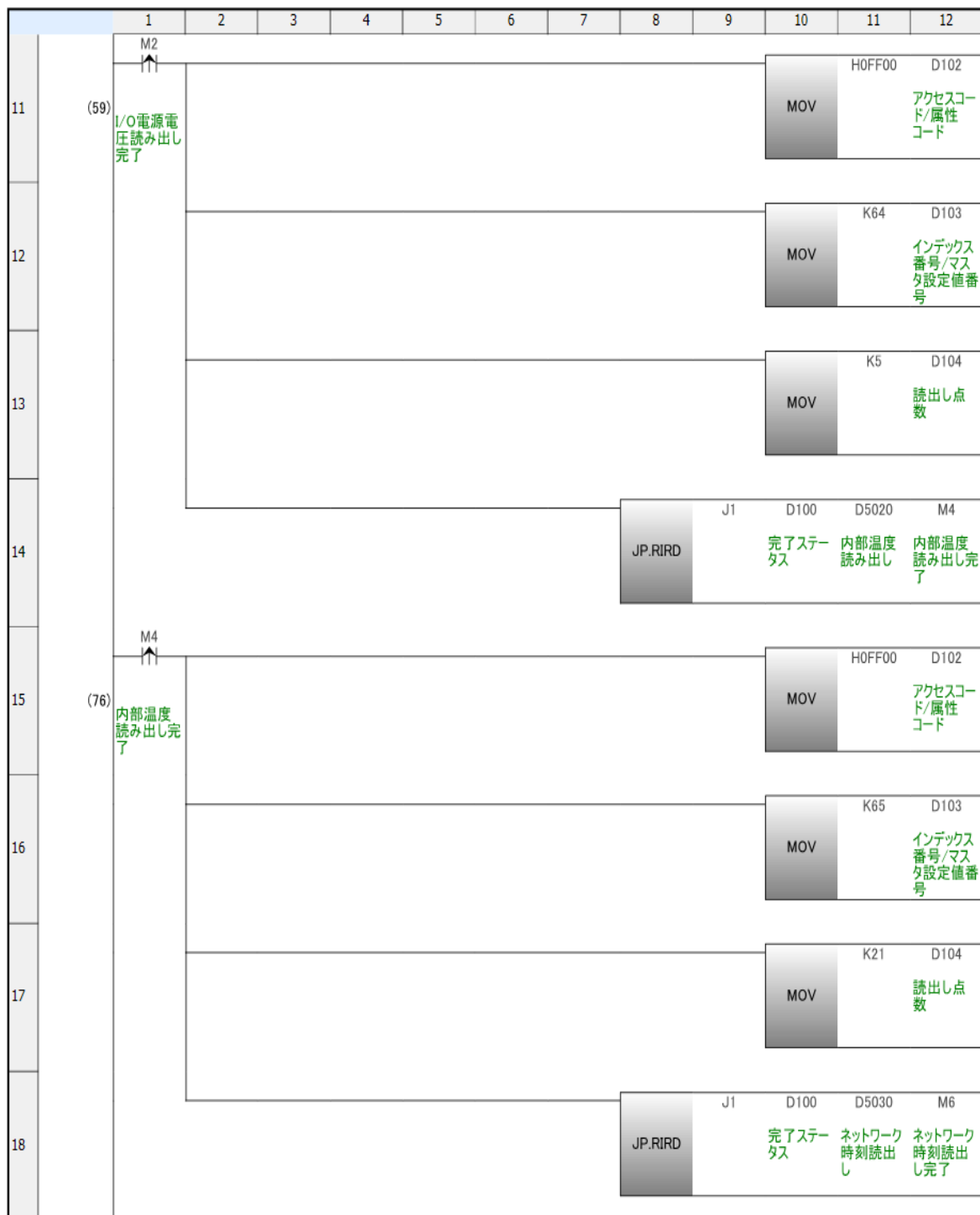


3.2. シーケンスプログラムの説明

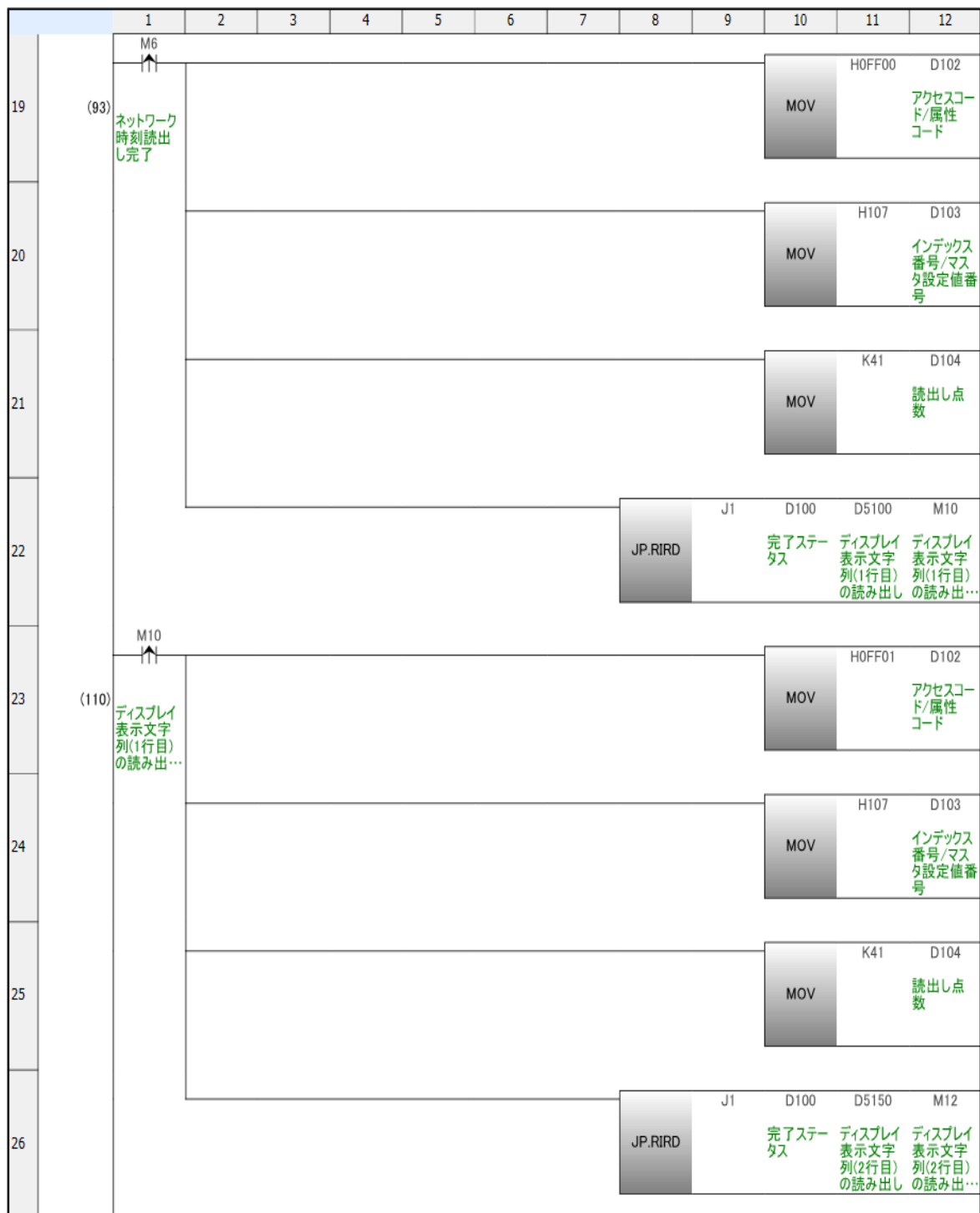
RIRD/RIWD 応用命令を使用して IO-Link マスタ/デバイスにアクセスします。



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
27	(127)	M12 ↑↑↑ ディスプレイ 表示文字 列(2行目) の読み出...								MOV	H8000	D102	アクセスコード/属性 コード				
28										MOV	H10	D103	インデックス 番号/マス タ設定値番 号				
29										MOV	K41	D104	読出し点 数				
30										JP.RIRD	J1	D100	D5500	M20	完了ステ ータス	ベンダー名 読出し	ベンダー名 読出し完 了
31	(144)	M20 ↑↑↑ ベンダー名 読出し完 了								MOV	H8000	D102	アクセスコード/属性 コード				
32										MOV	H11	D103	インデックス 番号/マス タ設定値番 号				
33										MOV	K41	D104	読出し点 数				
34										JP.RIRD	J1	D100	D5550	M22	完了ステ ータス	ベンダー情 報読出し	ベンダー情 報読出し 完了

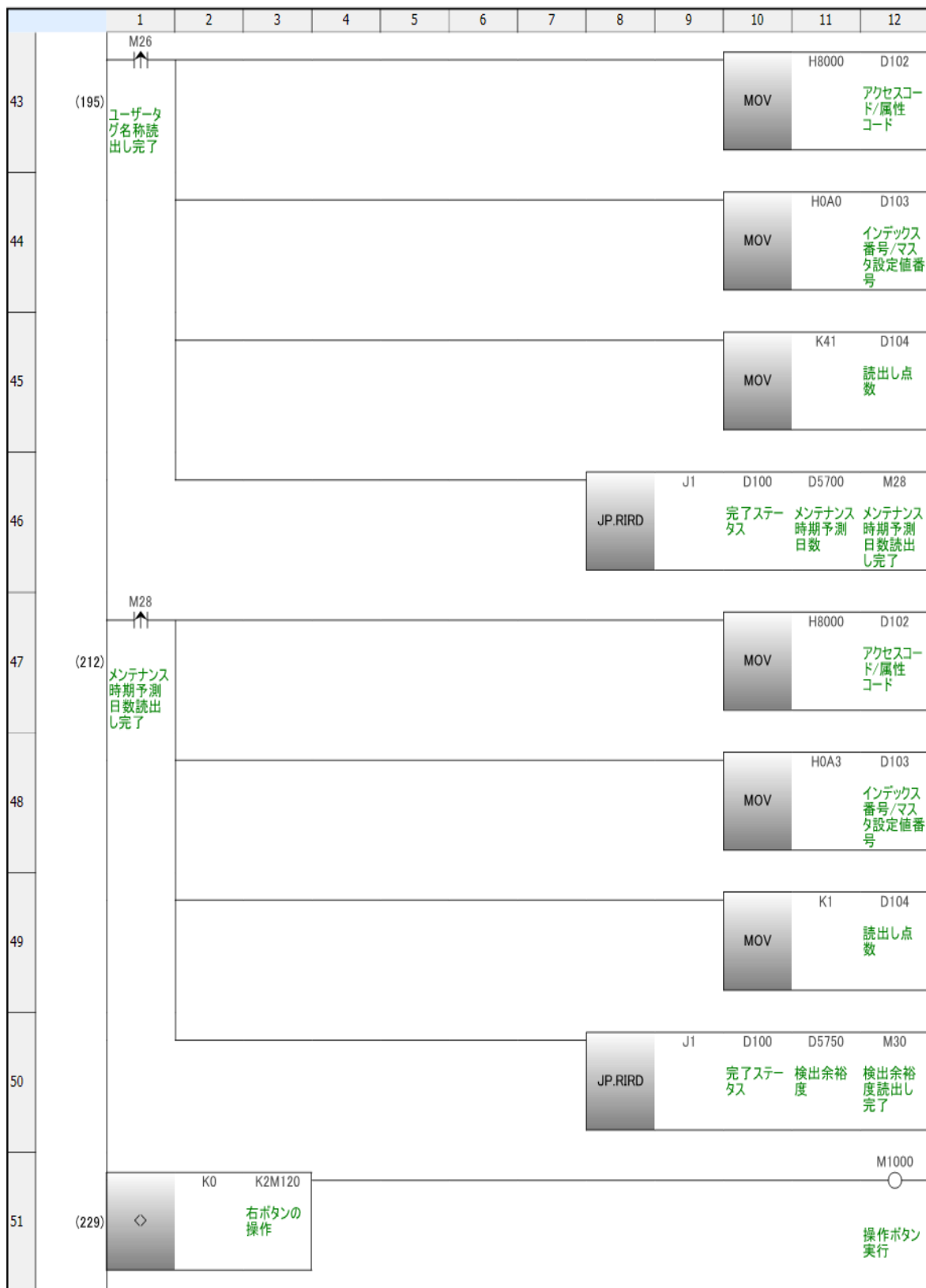


IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
35	(161)	M22 ↑↑								MOV	H8000	D102
												アクセスコード/属性コード
36										MOV	H12	D103
												インデックス番号/マスタ設定値番号
37										MOV	K41	D104
												読出し点数
38										JP.RIRD	J1	D100
											D5600	M24
												完了ステータス
												製品型式読出し
												製品型式読出し完了
39	(178)	M24 ↑↑								MOV	H8000	D102
												アクセスコード/属性コード
40										MOV	H18	D103
												インデックス番号/マスタ設定値番号
41										MOV	K41	D104
												読出し点数
42										JP.RIRD	J1	D100
											D5650	M26
												完了ステータス
												ユーザータグ名称読出し
												ユーザータグ名称読出し完了



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
52	(234) M1000 ↑↑ 操作ボタン 実行									MOV	H0FF	K2M128 未使用
53										MOV	K4M120	D102 右ボタンの アクセスコード/属性 コード
54										MOV	H108	D103 インデックス 番号/マスタ設定値番号
55										MOV	K1	D104 読出し点数
56										JP.RIRD	J1	D100 D5050 M1001 完了ステータス ボタン操作状態 ボタン操作完了



IO-Link マスタ CC-Link IE Field 接続用 リファレンスマニュアル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
57	(255)	M150 Find Me 要求								MOV	H0FF00	D202 アクセスコード/属性コード	アクセスコード/属性コード代入		
58										MOV	H10A	D203 インデックス番号/マスタ設定値番号	インデックス番号/マスタ設定値番号代入		
59										MOV	K2	D204 書込み点数	書込み点数代入		
60										MOV	K1	D205 書込みデータ	書込みデータ代入		
61										MOVP	K2	D5200 書き込み点数	書込み点数代入		
62										MOVP	K1	D5201 書き込むデータ	書込みデータ代入		
63										JP.RIWT	J1	D200 完了ステータス	D5200 書き込み点数	M14 Find Me 要求命令完了	JP.RIWT 命令実行
64	(280)														[END]



オプテックス・エフエー株式会社

本社:

〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町91
京都リサーチパーク9号館 4F
TEL: 075-325-2920

東京営業所:

〒105-0022
東京都港区海岸1-9-1
浜離宮インターシティ3F
TEL: 03-3578-7331

名古屋営業所:

〒450-0002
名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル6F
TEL: 052-589-9240

九州営業所:

〒810-0001
福岡市中央区天神3-9-25
東晴天神ビルディング8F
TEL: 092-739-6230

海老名営業所

〒243-0432
神奈川県海老名市中央2-1-6
センチュリー八芳4F
TEL: 046-292-7330

神戸営業所

〒651-0083
神戸市中央区浜辺通5-1-14
神戸商工貿易センタービル8F
TEL: 075-325-2920 (本社)

オプテックス・エフエー ホームページ

<http://www.optex-fa.jp>

